

# **11. 原子力災害時の医療等の実施体制**

**(安定剤素剤・避難退域時検査・簡易除染を含む)**

# 安定ヨ素剤の事前配布

- 佐賀県玄海町及び唐津市、長崎県松浦市では、安定ヨ素剤の事前配布に係る住民説明会を開催し、同時に安定ヨ素剤の事前配布を実施。
- 令和元年7月の原子力災害対策指針改正後は、40歳未満の者、妊婦、授乳婦、配布時点で挙児希望のある女性、その他配布希望者に対して配布を実施。
- 令和2年10月現在、PAZ内及びPAZに準じて防護措置を実施する地域の対象住民のうち40歳未満の者に対し、佐賀県では1,371人、長崎県では200人に事前配布を実施。今後も継続して説明会等を開催し、配布を行う。



佐賀県市町	40歳未満の配布対象者※	40歳未満の配布済者
げんかいちょう 玄海町 からつし 唐津市	1,264人 1,284人	787人 584人
合計	2,548人	1,371人

長崎県市町	40歳未満の配布対象者※	40歳未満の配布済者
まつうらし 松浦市 (鷹島・黒島)	448人	200人

※PAZ内及びPAZに準じて防護措置を実施する地域の対象住民数

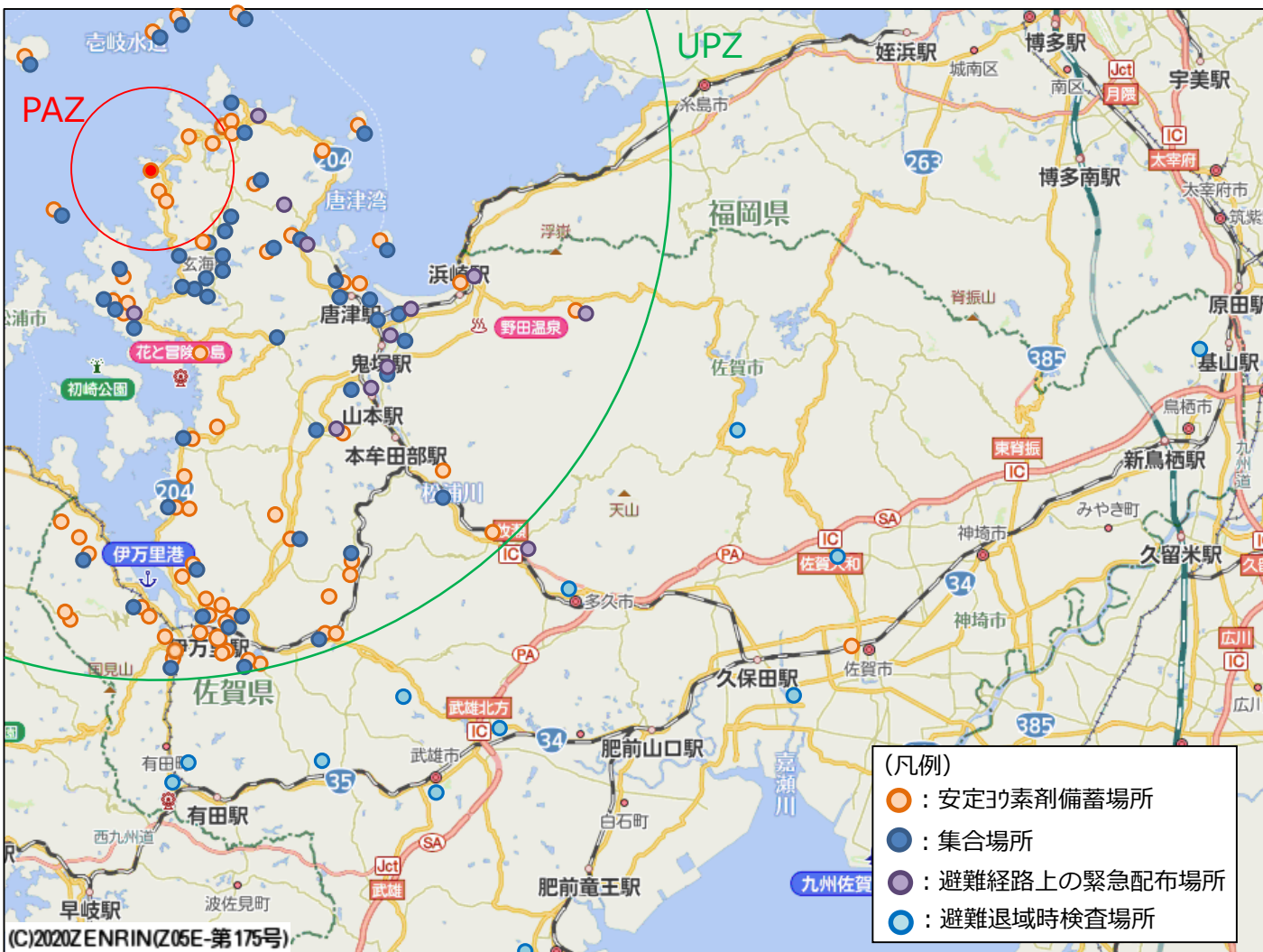
## <安定ヨ素剤事前配布説明会>



医師、県及び関係市町職員により、安定ヨ素剤の効能や服用時期など、事前配布に際し知っておくべき事項を説明し、安定ヨ素剤を配布。

# 佐賀県における避難住民等に対する安定ヨ素剤の備蓄状況と緊急配布

- 避難住民等に対する安定ヨ素剤の緊急配布に備え、佐賀県では計70か所の施設に合計約1,144,000丸の丸剤と約3,800gの粉末剤、ゼリー剤（乳幼児用、新生児用）20,660包を備蓄。  
そのうち、佐賀県内の離島（高島、神集島、小川島、加唐島、松島、馬渡島、向島）については、それぞれの離島において安定ヨ素剤を備蓄。
- 緊急配布が必要となった場合は、備蓄場所より各市町が指定する集合場所等（合計53か所（各離島を含む））や避難経路上の緊急配布場所（候補地計12か所）、避難退域時検査場所（候補地計12か所）に市町職員が搬送の上、対象住民等に緊急配布を実施。



## 安定ヨ素剤備蓄場所

佐賀県内：70か所

県及び市町職員により、  
安定ヨ素剤の搬送を実施

## 安定ヨ素剤の 緊急配布を実施

### 集合場所等で緊急配布（計53か所）

げんかいちよう 玄海町：11か所  
いまりし 伊万里市：14か所  
からつし 唐津市：28か所

### 避難経路上における緊急配布 （計12か所）

緊急時に市町が避難経路上に場所  
を指定して緊急配布を実施。

### 避難退域時検査場所で緊急配布 （計12か所）

佐賀市	：3か所	ありたちよう	ありたちよう	：2か所
たくし	：1か所	有田町	有田町	：1か所
多久市	：1か所	きやまちよう	きやまちよう	：1か所
たけおし	：4か所	基山町	基山町	：1か所
武雄市	：4か所	かしまし	かしまし	：1か所
		鹿島市	鹿島市	：1か所

（凡例）

- ：安定ヨ素剤備蓄場所
- ：集合場所
- ：避難経路上の緊急配布場所
- ：避難退域時検査場所

- 避難住民等に対する安定ヨ素剤の緊急配布に備え、長崎県では計97か所の施設に合計約379,000丸の丸剤と約2,050gの粉末剤、ゼリー剤(乳幼児用、新生児用)6,360包を備蓄。  
そのうち、長崎県内の離島(福島<sup>ふくしま</sup>、飛島<sup>とびしま</sup>、青島<sup>あおしま</sup>、平戸島<sup>ひらどしま</sup>、度島<sup>たくしま</sup>、的山大島<sup>あづちおおしま</sup>、壱岐島<sup>いきしま</sup>、大島<sup>おおしま</sup>、長島<sup>ながしま</sup>、原島<sup>はるしま</sup>)については、それぞれの離島において安定ヨ素剤を備蓄。
- 緊急配布が必要となった場合は、避難元の備蓄場所や一時集合場所での配布のほか、避難先の救護所において対象住民等に緊急配布を実施。



## 安定ヨ素剤備蓄場所

長崎県内：97か所

保健所、診療所、市役所、支所、学校、幼稚園、保育園等に分散配備

救護所へは、県及び市町職員により、安定ヨ素剤の搬送を実施

## 安定ヨ素剤の緊急配布を実施

### <緊急配布の考え方>

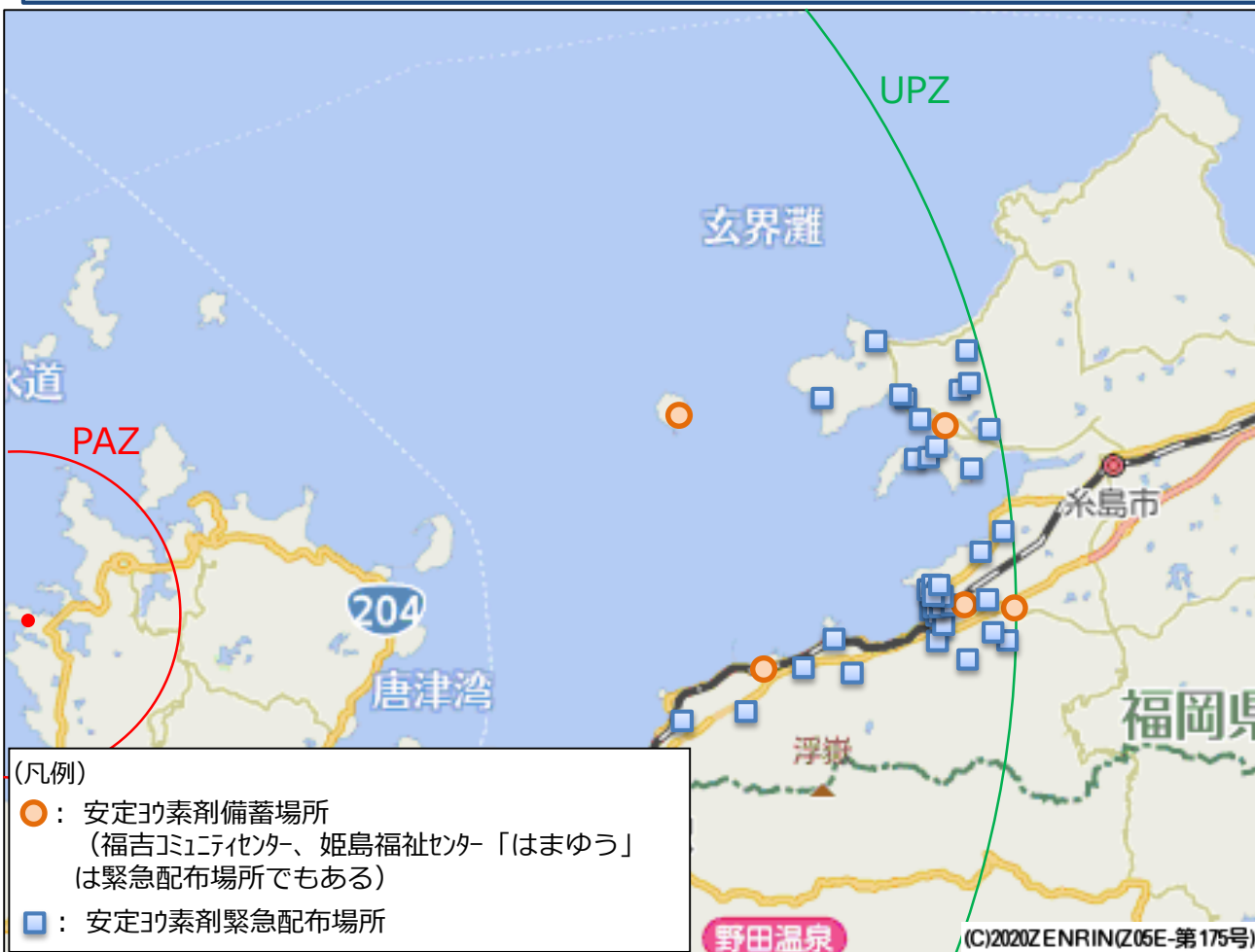
- ・ 避難先までの距離が遠い場合は、避難元の備蓄場所又は避難先の救護所で緊急配布を実施。
- ・ 避難先までの距離が近い場合は、移動を優先し、避難先の近くに設置する救護所で緊急配布を実施。
- ・ 離島については、対象となる離島に備蓄し、緊急配布を実施。

### 緊急配布場所(89か所)

まつうらし	させぼし	ひらどし
松浦市：45か所、	佐世保市：2か所、	平戸市：6か所
いきし	ひがしそのぎちよう	かわたなちよう
壱岐市：33か所、	東彼杵町：1か所、	川棚町：1か所
はさみちよう		
波佐見町：1か所		

# 福岡県における避難住民等に対する安定ヨウ素剤の備蓄状況と緊急配布

- 避難住民等に対する安定ヨウ素剤の緊急配布に備え、福岡県では計5か所の施設に合計約152,000丸の丸剤と約250gの粉末剤、乳幼児向けに16.3mgゼリー剤300包と32.5mgゼリー剤840包を備蓄。そのうち、福岡県内の離島(姫島<sup>ひめしま</sup>)においても安定ヨウ素剤を備蓄。
- 緊急配布が必要となった場合は、避難経路上にある県内44か所の公民館等において、対象住民等に緊急配布を実施。



## 安定ヨウ素剤備蓄場所

### 福岡県内：計5か所

- いきさん  
一貴山コミュニティセンター
- ふかえ  
深江コミュニティセンター
- ふくよし  
福吉コミュニティセンター
- ひきつ  
引津コミュニティセンター
- ひめしま  
姫島福祉センター「はまゆう」

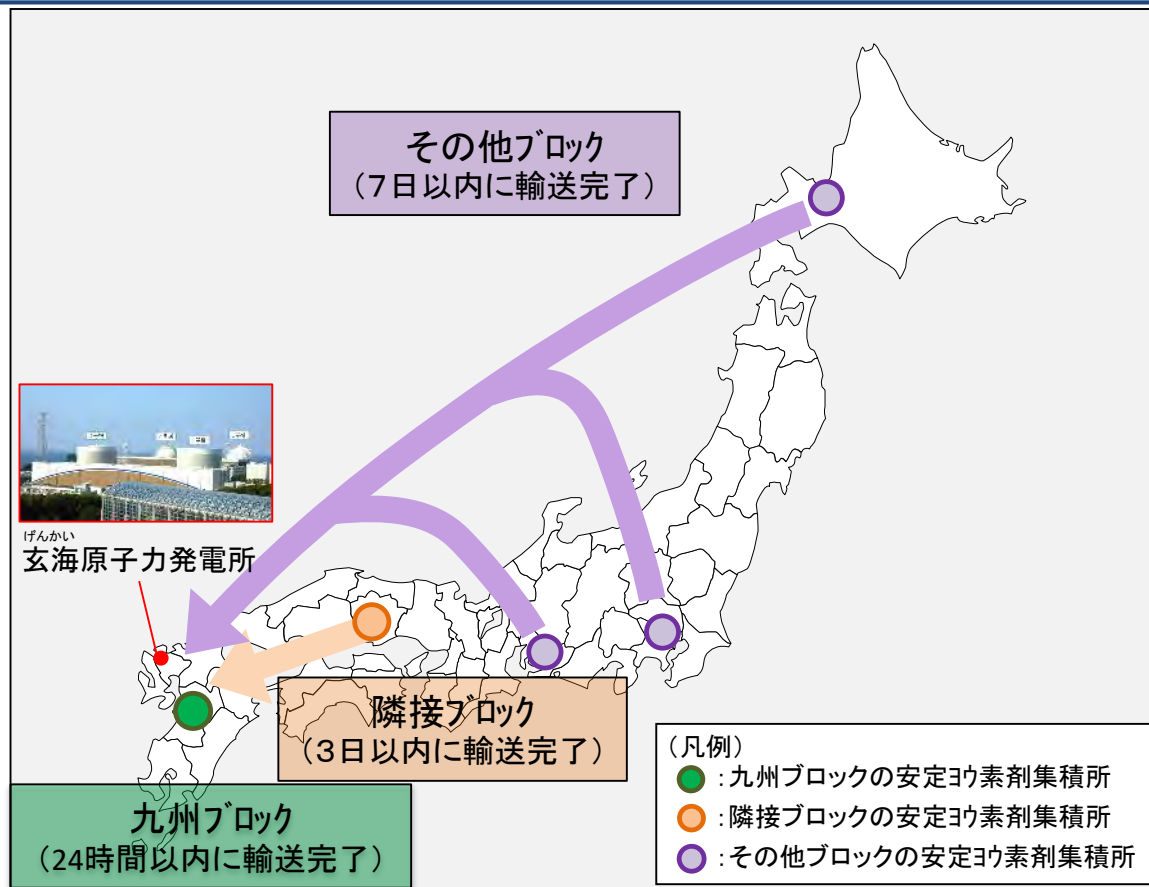
## 安定ヨウ素剤の緊急配布を実施

### 避難経路上にある 糸島市内44ヶ所のコミュニティセンター等

- いきさん  
一貴山校区：4ヶ所
- ふかえ  
深江校区：19ヶ所
- ふくよし  
福吉校区：6ヶ所
- かや  
可也校区：1ヶ所
- ひきつ ひめしま  
引津・姫島校区：14ヶ所

# 国による安定ヨウ素剤の確保体制

- 国は、UPZ内において安定ヨウ素剤が不足した場合、及びUPZ外において安定ヨウ素剤を必要とする場合に備えた備蓄を実施しており、全国を5つのブロック(北海道、東北・関東、中部、中国・四国、九州)に分け、5か所の安定ヨウ素剤集積所に、丸剤200万丸、乳幼児向けゼリー状安定ヨウ素剤15万包の備蓄を実施。
- 緊急配布場所への輸送は、九州ブロックの安定ヨウ素剤集積所から24時間以内、隣接ブロックの安定ヨウ素剤集積所から3日以内、その他ブロックの安定ヨウ素剤集積所から7日以内に完了する体制。
- さらに、不足の場合には、民間工場での全力生産及び海外からの援助等により、必要数を確保。



佐賀県オフサイトセンター



安定ヨウ素剤集積所



UPZ内外の安定ヨウ素剤  
緊急配布場所